

ホソバミズヒキモ

Potamogeton octandrus Poir. var. *octandrus*
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は11箇所、各生育地とも個体数は少ない。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では敦賀市、越前町、永平寺町、あわら市、福井市、勝山市で確認されている。

種の特徴

溜池や河川、水路などに生育する枕水または浮葉植物。繊細な地下茎が泥中を横走る。水中茎はよく分枝する。沈水葉は線形で、鋭尖頭。浮葉は長楕円形で明るい黄緑色、花は間隔をあけて3～4段につける。

生育を脅かす要因

池沼の埋め立て、河川改修工事が生育地、個体数とも減少させている。水田付近の生育地は著しく減少した。また自然遷移も進んでいる。

参考文献

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
						○	○			○			○		○		○

ヒロハノエビモ

Potamogeton perfoliatus L.
ヒルムシロ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：県域絶滅危惧Ⅱ類

【環境省カテゴリー】—

選定理由

県内でこれまで確認されている生育地は2箇所である。

分 布

北海道～九州に分布する。県内では嶺南地方で確認されている。

種の特徴

水中に沈んで生育する多年生草本。地下茎は横に這う。葉はすべて沈水葉。葉柄が無く、葉身は広披針形で薄くてやわらかく、基部は茎を抱く。6～9月に開花する。穂状花序をつけ、花を密につける。

生育を脅かす要因

池沼開発、河川改修工事が生育地、個体数を減少させている。

参考文献

佐竹義輔ほか（1982a）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
	○			○													

ネバリノギラン

Aletris foliata (Maxim.) Bureau et Franch.
キンコウカ科

【福井県カテゴリー】新：県域絶滅危惧Ⅱ類 旧：—

【環境省カテゴリー】—

選定理由

本県では2地区でのみ確認されている。

分 布

北海道、本州（中部地方以北）、四国、九州に分布する。県内では高浜町、大野市で確認されている。

種の特徴

山地から高山の草原に生える多年草。葉は束生し、披針形～倒披針形、長さ10～25cm、幅1～2cm。花茎は20～40cmで、小型の葉を付ける。4～7月、やや多数の花を総状に付ける。花被は黄緑色のつぼ形。外形はノギランに似ているが、花序や花が粘着する。

生育を脅かす要因

産地局限、自然遷移。

参考文献

福井県植物研究会（1997）

市 町 別 生育情報	若狭町	おおい町	高浜町	美浜町	小浜市	敦賀市	越前町	南越前町	池田町	永平寺町	坂井市	越前市	あわら市	鯖江市	勝山市	大野市	福井市
			○													○	